施策番号	2707					
施策名	水共生の取組の推進					
概要	水に関する諸課題の解決に向け、流域全体の治水対策、良好な水辺環境の実現等 の水共生の取組を市民、事業者、行政が連携して推進し、水に関する市民意識が高 いまちを目指す。					
担当局·部室	建設局・土木管理部 共管局・部室					
上位政策	27 くらしの水					
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市水共生プラン,京都市河川整備方針					

施策の評価

1 客観指標評価

						26年月	を評価		
	指標名	24年度	25年度	前回値	最新值	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	都市基盤河川改修率(%)	a	а	61. 1	61. 3	61. 2	100. 2%	а	1. 00
2	親水性のある水辺空間の整備率(%)	a	С	83. 4	85.8	88. 5	96. 9%	С	1. 00
3	公共施設における雨水浸透施設設置率(%)	a	а	100.0	100.0	100.0	100.0%	а	1. 00
4	水共生学習会の実施率(%)	а	а	35. 0	50.0	30.0	166. 7%	а	1. 00
5	公共施設における雨水貯留施設設置率(%)	а	а	100.0	100.0	100.0	100.0%	а	1. 00
6	-	-	-	-	-	_	-	-	
			a	客	観指標	総合評	西	а	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

				2	6年度回	李		
	設問	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識	67	196	159	44	36	502	b
Ľ	が高まっている。	13.3%	39.0%	31. 7%	8.8%	7. 2%		
2	-							_
Ľ								
3	_							_
Ľ								
4	_							_
Ľ								
5	_							_
Ľ								
			市民生	活実感	調査総合	合評価		b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

В	施策の目的がかなり	達成されている						
_ B	重み付け	□ 客観指標	а	☑ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 当該施策は、水に関する市民意識の高いまちを目指すものであるため、市民生活実感評価を 重視する。								
度に引き続き ●その他の指 はa評価となっ 【市民の実感	c評価が続いている。 st標については,全て3 ⁴ った。	引の整備率については, F連続a評価と高い評価 学習会の実施」など,水 定している。	で安定して	おり,昨年度に引き続き	総合評価	24 年 度	В	

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

		事業費の物	状況(千円)	26年度事務事業評価結果	
	事業名	25年度 決算額	『度 │ 26年度 │ における目標達成度評価 │		担当局
1	河川改良	173, 882	239, 380	1	建設局
2	幹線排水路改良債対象事業	2, 998	41, 168	1	建設局
3	岩倉川改修	7, 093	7, 555	-	建設局
4	高瀬川再生プロジェクト	30, 259	70, 489	1	建設局
5	治水計画基本調査	2, 518	3, 013	1	建設局
6	七瀬川改修	22, 507	36, 109		建設局
7	新川改修	26, 571	12, 337	-	建設局
8	西羽束師川改修	22, 283	89, 424		建設局
9	西高瀬川改修	15, 385	61,847	1	建設局
10	善峰川改修	7, 093	7, 555	1	建設局
11	東高瀬川改修	2, 518	24, 013	1	建設局
12	白川改修	7, 093	7, 555	1	建設局
13	治水安全度調査・整備プログラム	17, 286	_	1	建設局
14	普通河川緊急対策事業	_	69, 506	_	建設局
15	有栖川右岸流域浸水対策検討業務	_	18, 706	_	建設局
16	排水機場機能調査	_	32, 961	_	建設局
17	雨水流出抑制指導基準策定	_	9, 106	_	建設局
18	次期社会資本総合整備計画検討業務	_	13, 706	_	建設局
19					
20			_		

^{*}予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●「京都市水共生プラン」及び「京都市河川整備方針」に基づき、高瀬川再生プロジェクトをはじめ とした河川改修や親水性のある水辺空間の整備、水共生学習会の実施と周知、雨水浸透施設及び貯留 施設の設置など、市民の実感につながるよう、取組を引き続き推進する。 施策名

2707

水共生の取組の推進

指標名 都市基盤河川改修率(%)

担当課

河川整備課

連絡先

222 - 3591

1 指標の説明

都市基盤河川 (※) の改修率

※国や府が維持管理を行う一級河川の中で、周辺地域における市街地整備と関連した治水対策を実施する必要がある等、一定の要件を満たした河川。本来の河川管理者に代わり、京都市が改修工事などを実施する。

2 指標の意味

水との共生に向けた治水対策の推進状況を示す 指標

3 算出方法・出典等

算出方法:都市基盤河川整備延長÷都市基盤河川計画延長×100

出典:事業担当課調べ

4 数值

	前回数值	最新数值	₩ 19		目標値	
	24年度	25年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	61.1	61.3	0.2ポイント増	61.2	都市基盤河川における当該年度の目標改修率	100.2%

	A = WT 44				中長期目標
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠
数值					

備考

5 評価基準

6 基準説明

最新値をx, (目標値-前回値)をyとしたとき

- a:目標値≦x
- b:前回値+y*2/3≦x<目標値
- c:前回値+y*1/3≦x<前回値+y*2/3
- d:前回値<x<前回値+y*1/3
- e:x=前回値

目標値を達成することは不可能ではないが,財政状況の寄与度が高いことから,目標値以上の達成をaとし,5段階

に基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
а	а	а

指標名

親水性のある水辺空間の整備率(%)

担当課

河川整備課

連絡先

222 - 3591

1 指標の説明

親水性のある水辺空間(※)の整備率 ※人が水に親しみやすい水辺空間のこと

2 指標の意味

水との共生に向けた良好な水環境実現の推進状 況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法:親水性のある水辺空間の整備延長:平成32年 目標整備延長(※)×100 ※平成20年度比30%増

出典:事業担当課調べ

4 数值

. ~						
	前回数值	最新数值	₩ 19		目標値	
	24年度	25年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	83.4	85.8	2.4ポイント増	88.5	平成32年目標整備延長に対する当該年度 の目標整備率	96.9%

	A				中長期目標
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠
数值		100	32年度	85.8%	平成32年度に100%の達成を目指す。

備考

5 評価基準

6 基準説明

最新値をx, (目標値-前回値)をyとしたとき,

- a:目標値≦x
- a . 日保恒≦x b : 前回値+y*2/3≦x<目標値
- c:前回値+y*1/3≦x<前回値+y*2/3
- d:前回値<x<前回値+y*1/3
- e:x=前回値

目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
а	O	O

施策名

2707

水共生の取組の推進

指標名 公共施設における雨水浸透施設設置率 (%)

担当課

河川整備課

連絡先

222 - 3591

指標の説明

京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議により、雨水浸透施設(※)の設置が必要な件数に対する当該年 度の設置率

|※雨水を地中に浸透させ、雨水の総流出量を減少させるために設置する施設

2 指標の意味

水との共生に向けた健全な水循環系回復の推進 状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法:設置件数:協議による設置必要件数×100 出典:事業担当課調べ

4 数值

	前回数值	最新数值	推移		目標値	
	24年度	25年度		数值	根拠	達成度
数值	100.0	100.0	増減なし	100.0	毎年度100%の設置を目指す。	100.0%

			中長期目標					
		全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠		
娄	效値							

備考

評価基準

6 基準説明

最新数値の目標値に対する達成度が 目標値を達成することは不可能ではな a:90%以上 b:70%以上~90%未満 ことから,90%以上の達成をaとし,

c:50%以上~70%未満 d:30%以上~50%未満 e:30%未満

いが、財政状況の寄与度が比較的高い 20%刻みで等間隔に基準を設定した。

7 評価結果 26 24 25 а а а

指標名

水共生学習会の実施率(%)

担当課

河川整備課

連絡先

 $2\ 2\ 2\ -3\ 5\ 9\ 1$

指標の説明

水に対する意識を向上させ、身近な水辺空間の保全等を啓発する「水共生学習会」の実施率

指標の意味

水との共生に向けたゆたかな水文化創造の推進 状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法: 実施件数: 平成32年目標実施累計件数(※) $\times 100$ ※20件

出典:事業担当課調べ

4 数值

	·					
	前回数值	最新数值	\ # 19	### 目標値		
	24年度	25年度	推移	数值	根拠	達成度
数值	35.0	50.0	15ポイント増	30.0	平成23年度からの新規事業として,平成32年度までに累計20件の実施を目指す。(単年度目標:2件/年)	166.7%

	A	中長期目標						
	全国順位	数值	目標年次	達成度	根拠			
数值		100	32年度	50.0%	平成32年度に累計20件(2件/年)を目指す。			

備考

評価基準

6 基準説明

最新数値の目標値に対する達成度が 目標値を上回ることは不可能ではない a:100%以上

b:80%以上~100%未満 c:60%以上~80%未満 d:40%以上~60%未満 e:40%未満

ため, 100%以上の達成をaとし, 20%刻 みで等間隔に基準を設定した。

24	25	26
а	а	а

7 評価結果

	施策	名	27	07	水共生	の取組の推進							
1 指標の説明 京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議対象により、雨水貯留施設(※)が設置が必要な件数に対する当 該年度の設置率 ※雨水タンク等、雨水を貯留し、打ち水等への利用が可能なものに限る。 2 指標の意味 水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す 指標 第出方法・出典等 第出方法・出典等 第出方法・設置件数÷協議による設置必要件数×100 出典:事業担当課調べ 4 数値	指標	公共施設における雨水貯留施設設置率(%)											
京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議対象により、雨水貯留施設(※)が設置が必要な件数に対する当 该年度の設置率 ※雨水タンク等、雨水を貯留し、打ち水等への利用が可能なものに限る。 2 指標の意味 水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す 指標	担当	 当課	河	が 川整備記	 課	連絡先 2.2			$2 - 3 \ 5$	5 9 1]		
京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議対象により、雨水貯留施設(※)が設置が必要な件数に対する当 该年度の設置率 ※雨水タンク等、雨水を貯留し、打ち水等への利用が可能なものに限る。 2 指標の意味 水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す 指標	1 指:	標の説は	 明								-		
※雨水タンク等,雨水を貯留し,打ち水等への利用が可能なものに限る。 2 指標の意味 水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す 指標 4 数値	京都市同	 雨水流出		実施要約	岡に基づ	く協議対象に	より、雨水貯留施	設(※):	が設置が	必要な作	上数に対	する当	
3 算出方法・出典等 類は方法・出典等 算出方法・出典等 類は方法・出典等 算出方法・出典等 算出方法・出典等 算出方法・出典等 算出方法・出典等 類は方法・出典等 類は方法・出典等 事権値 本の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表			恵水を	- 時知 1	セナナール	空への利用が	可能われのに阻る						
# との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す 指標				別笛し,	11 り小	す、 、いノかり用 か							
出典:事業担当課調べ				AIII a l	4\4\I\>=	2 - L				7 - 11 PP V	正 /山 ※/	(100	
4 数値 前回数値 最新数値 推移 目標値 24年度 25年度 数値 根拠 達成度 数値 日標値 機拠 建成度 100.0 全国順位 中長期目標 機拠 備考 多値 目標年次 達成度 根拠 横考 5 評価基準 6 基準説明 7 評価結果 最新数値の目標値に対する達成度がいが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、ことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26		英生に 回	げた雨水	利用の習	E 進 状 況	を示す			協議によっ	る設置必	要件数×	(100	
前回数値 最新数値 推移 目標値 24年度 25年度 数値 根拠 達成度 数値 100.0 毎年度100%の設置を目指す。 100.0 全国順位 中長期目標 数値 機拠 備考 5 評価基準 6 基準説明 構物 「評価結果 最新数値の目標値に対する達成度がいが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26 1 24 25 26	日1示						山典 . 尹未担:	∃床闸′\					
前回数値 最新数値 推移 目標値 24年度 25年度 数値 根拠 達成底 数値 100.0 毎年度100%の設置を目指す。 100.0 全国順位 中長期目標 数値 根拠 備考 5 評価基準 6 基準説明 構務 最新数値の目標値に対する達成度がはいが、財政状況の寄与度が比較的高いにではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26													
24年度 25年度 推移 数値 根拠 達成所 数値 100.0 相拠 達成所 数値 日標度100%の設置を目指す。 100.0 全国順位 中長期目標 数値 中長期目標 数値 根拠 備考 5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a:90%以上 b:70%以上~90%未満 日標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26	4 数·		<i></i>	皇蛇	米/店	T			口捶仿				
全国順位 中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠 数値 目標年次 達成度 お数値 日標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、						推移	推移 数值					達成原	
全国順位 中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠 新数値 日標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、ことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26	粉估	100	0.0	100	0.0							100.0	
全国順位 数値 目標年次 達成度 根拠 数値 日標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、ことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26	双旭												
数値 6 基準説明 7 評価結果 最新数値の目標値に対する達成度が a: 90%以上 b: 70%以上~90%未満 目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26	双胆	<u> </u>	T					_		1			
5 評価基準 6 基準説明 7 評価結果 最新数値の目標値に対する達成度が : 90%以上 : 90%以上 : 90%以上 : 70%以上~90%未満 目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、 24 25 26	双胆	全国順位	数值	日煙年次		中長期目標	根拠						
最新数値の目標値に対する達成度が 目標値を達成することは不可能ではな は 24 25 26 26 いが、財政状況の寄与度が比較的高い ことから、90%以上の達成をaとし、		全国順位	数値	目標年次		中長期目標	根拠		備考				
a:90%以上 o:70%以上~90%未満 いが、財政状況の寄与度が比較的高い ことから、90%以上の達成をaとし、	数値		数値	目標年次					備考				
: 70%以上~90%未満 ことから, 90%以上の達成をaとし,	数值 5 評 ·	価基準			達成度	6 基準説明	月		備考	7 評値	而結果		
	数值 5 評 最新数值	価基準 直の目標			達成度	6 基準説 目標値を達成	明 以 することは不可能		備考		1	26	
	数值 5 評 最新数值 1:90%以	価基準 直の目標 以上	値に対す		達成度	6 基準説 目標値を達成いが、財政状	明 及することは不可能 代況の寄与度が比較	校的高い	備考		1	26	
	数値 5 評 最新数値 a:90%以 o:70%以 e:50%以	価基準 直の目標 以上 以上~90	値に対す %未満 %未満		達成度	6 基準説明 目標値を達成いが、財政状 ことから、9	明	改的高い とし,	備考		1	26 a	

e:30%未満